

るるる



今号の表紙

ライフエル駒川

PICK UP

- 1 ライフェル駒川のある一日
- 2 映画『ケアニン』上映会レポート！

HELLO! NEW STAFF

谷 直子さん・萬田 亜祐子さん・野口 夏希さん

鯉谷さんのひとりごと

いよいよ、社内報がスタートします！

ある一日 ライフエル駒川の



行きつけのスーパーで好みのパンを発見する加納さんと西さん

入居者さん一人ひとりのスケジュールに沿って動いている職員のみなさん。ある一日に密着し、お話をうかがいました。

15時、入居者・加納さんの買い物につき添う準備を進める西さん。冷蔵庫の中を見て「これはまだ余分にありますね、これとか買い足しておきましょうか」と声をかけながら買い物リストをまとめています。この日は雨だったものの、出かける時には天気が回復。日曜日ということもあり、いざ向かう駒川商店街はとても賑わっていました。行き先は薬局とスーパー。たくさんの方がいる中、「果物とか買っておく？パンはどれが良いかな？」と確認しながら、穏やかに買い物を進行。予定通り16時にライフエルの自宅へ戻ってきました。「買い物の付き添いはやっぱり緊張しますね。まわりに人がたくさんいるし、ご本人の体調もあるし」（西さん）。

一人ひとりの住まいに洗濯機や浴室があるのもライフエルならではの。朝9時に浦野さんのお宅を伺うと、**今本さんが洗濯物を**

干していました。「外で干してほしい人もいれば、室内干ししてほしい人もいます。掃除の順番も入居者さんによって希望があります。認識が違わないように共用のマニュアルを用意しているんですよ」（今本さん）。

同日の11時頃、加納さんの**お宅を掃除**していた山岡さんは「ベース配分が大切。時間内にきっちり済ませることはもちろん、ご本人の体調に気を配ることに気を付けています」と話してくれました。



管理者
喜多さん

職員は入居者さんのお宅を訪問し、掃除・洗濯の援助や入浴介助、買物同行などを行っています。入居者さんと職員、1対1で向き合う時間があるのがライフエルの特徴かなと思います。

ライフエル駒川

サービス付き高齢者向け住宅

住所：大阪市東住吉区駒川4-3-7／従業員数：32名



浴室へ洗濯物を干す今本さん



水回りを掃除する山岡さん

るるる日誌 - 日々のできごと -

毎週土曜日



入居者さん&地域の方向けに介護予防の体操教室をやっています。モニターに映されたお手本を見ながら、無理のない範囲でできる健康づくり!好評です。

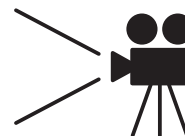


地域バンドの方が大正琴やギター、ベース等を使って懐かしの名曲から民謡まで演奏!観客の皆さんは音色に合わせて楽しそうに合唱していました。



コミュニティスペース「イマ」の常連さんが日課の散歩へおでかけ。事務所職員の木原さんが玄関まで付き添い、明るく「いってらっしゃい」とお見送り。

映画『ケアニン』上映会レポート！



「徘徊も職員が付き添えば『さんぽ』」など、他とは違った考え方で日本の福祉業界をリードする会社「あおいけあ」。その事業所をモデルにした映画『ケアニン』の上映会が開催されました。

日時：6月24日・25日・26日
場所：寿幸苑・ライフエル駒川
参加者：職員のみなさん

6月24日から3日間行われた『ケアニン』上映会。夜勤明けや休日出勤の職員もいる中、約2時間弱の映画を鑑賞しました。映画に登場した福祉施設は、神奈川県藤沢市にある「あおいけあ」の事業所がモデル。実際の現場でも、家庭的な雰囲気の中で認知症の利用者が家事や大工仕事等を行い「一人ひとりを尊重したスタイル」がとられているそうです。

もともと「変えるプロジェクト」（浪速松楓会全体をより良くするために見直す企画）の一環で行われた今回のイベント。映画鑑賞後は賛否両論、いろいろな意見が集まりました。



統括施設長
鯉谷さん

上映会をしたワケは、考える選択肢を増やしたかったから。モデルになっている事業所を良い!と思っても、当法人に何もかも反映できるわけじゃない。それでも、今後の1つの方向性・可能性として選択肢を増やしたかったんです。今よりもっと、自由な考え方を見出したかった。映画を観たことで「これから」のいろいろを話し、考えるきっかけになると嬉しいです！

『ケアニン ～あなたでよかった～』

製作年：2017年／上映時間：105分／監督：鈴木 浩介／原案：山国 秀幸／脚本：藤村 磨実也／出演：戸塚 純貴、藤原 令子、山崎 一、水野 久美、松本 若菜ほか



映画を観てみて

1 この映画を観て、参考になったこと、自分の現場でも取り入れたい考え方や取り組みを教えてください。

吉竹 紀代美さん
(サボテンの花)

利用者が「楽しい」「嬉しい」と思えることを意識して業務にあたっています。辛いことが多い仕事だと感じますが、してきたことに意味を感じられた喜びに比べたら「辛いことも大した事ではない」と映画を観て改めて感じました。

若林 咲奈さん
(寿幸苑)

「ケアニン」を初めて観て、今、自分がしている仕事がいかに深くて人の気持ちを動かす内容なのか気付かされました。「認知症だから」という縛りは無くして、相手の気持ちに今以上に気づけたらと思いました。

須藤 美和子さん
(ライフエル駒川)

生きがいや趣味を持たず「仕事一筋」で生きてこられた人が、日々手持ちぶさたに生活されている様子をよく見ます。そんな方にも、承認欲求を満たし生きがいを持って生活して頂けるようにお手伝いしていきたいです。

2 この映画を観て、疑問に感じたことを記入してください。

山口 純子さん
(サボテンの花)

利用者に寄り添うことは基本だと思いますが、外出(徘徊)の度に職員が付き添うなどは現実的に難しいと感じています。この映画は理想に近い内容ですが「理想を目標として持つておかないと」とは思います。

島田 康平さん
(寿幸苑)

看取り対応になった時に最期に何ができるか、どう寄り添えられるか考えさせられました。(対話のシーンでは)利用者の過去の仕事や体験を採るだけでそんなに上手くいくものなのかな、反応しない方が多いのでは?と感じました。

山之内 健さん
(ライフエル駒川)

これから介護をやりたい人、興味がある人、介護を知らない人やご家族は、ぜひとも観るべき良い映画だと思います。ただ実際に介護経験がある職員には、理想と現実の中でどう感じるかは人それぞれだと思います。

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれた さまざまな活動を紹介します。

1 レモングラス、育ててます

日時：4月～ 場所：寿幸苑（外庭）

地域にとけこむ活動を続けているチーム Re-lo (Re-local)。この春、寿幸苑の外庭にレモングラスの種を植えました。12月には育った苗を使って、地域の人向けにしめ縄作りのワークショップを開催予定です！



2 WELCOME パーティーを開催

日時：5月10日（金） 場所：寿幸苑 娛樂室

去年の4月～今年の4月に入職した職員の歓迎会をASO部と家庭科部が企画。手作りのたこ焼きやカレーを囲み、事業所やフロアの垣根を超えた総勢70名の大交流会になりました。運営隊の皆さん、ありがとうございました。



3 赤穂相談役の送別会をしました

日時：7月9日（火） 場所：ブラッスリーモノクローム 天王寺ミオ店

法人の立ち上げ以来13年もの間、私たちを引っ張り、見守ってくださった赤穂さんが6月末に退職されました。翌7月に開かれた送別会にはいろいろな事業所・フロアから計25名が集結し、にぎやかで温かな会になりました。



4 就職イベントに出展

日時：7月20日（土） 場所：インテックス大阪

インテックス大阪で開かれた「福祉の就職総合フェア2019 in OSAKA」。今回も頼れる職員たちが勇んで参戦！並みいる強豪（他法人・福祉関連企業）に負けず、積極的に当法人のPR活動を行ないました。



Hello! NEW STAFF



谷 直子さん
(寿幸苑 医務室)



萬田 亜祐子さん
(サボテンの花)



野口 夏希さん
(寿幸苑)

出身	大阪府大阪市	大阪府大阪市	大阪府大阪市
住んでいる所	大阪府大阪市	大阪府大阪市	大阪府大阪市
好きな食べ物	焼き肉	イタリアン	お寿司

SNS も 更新中！

浪速松楓会のいろいろな情報を、ゆるく発信中！社内報では伝えきれない日常の様子や取り組みを紹介しています。気軽にのぞいて、気が向いたらイイネしてください♪



スマホでも社内報を読むことができます。詳しくはFacebookへ！



鯉谷さんの



ひとりごと

No.001

いよいよ、社内報がスタートします！

これから2ヵ月に1度のペースでこの冊子を発行していく予定です。目的は、「お互いのことを知るため」。法人のこと、事業所のこと、職員のこと、入居者さんのこと、地域のこと。ここをいろんなことを知る場所の一つにしたいと考えています。どうして、「知る」ことが大切なのでしょう。それは、「想いを向ける」という意味での「ケア (care)」は、「知ること」から始まるからです。知らない人や物事を「ケア」することはできません。私たちはみんな、毎日誰かに「ケア」をされ、「ケア」をしています。それは、私

たちにとっては、生きていくためにはすごく大切な、かけがえのない営みです。そんな「ケア」があふれる場所が、私たちにとっての「居場所」になる。「知ること」は、「ケア」の始まりであり、私たちが目指すことを実現するための最初の第一歩です。そんな想いを込めてこの社内報の名前は『るる』(見る・知る・考える) にしました。軽やかな足取りで、いろいろな現場・コト・ヒトを紹介していきます。これから頑張って発行していくので、楽しみにしてもらえたら嬉しいです。